



どれも力作！



## 第185号

発行者  
鳥取県江府町  
電話江尾代5-2211  
編集総務課  
印刷(有)富士印刷

### 江府町の人口

(10月31日現在)

世帯数	1,283	世帯人口	4,936人
(前月比)	6人減		
(男)	2,377		
(女)	2,559		
出生	3		
(男)	1		
(女)	2		
転入	8		
(男)	4		
(女)	4		
転出	11		
(男)	6		
(女)	5		
死亡	6		
(男)	6		
(女)	0		

### 米沢小学校で

#### “わら馬”づくり

十月三十日、米沢小学校の児童父母ら百三十名が体育館に集まつて親子創作教室が開かれました。この創作教室は、むかしの人達の生活の智慧を偲び郷土に伝承されている行事や遊びを見直そうと毎年一回行われており、今年は、一・二年生は紙工作・三年生以上は“わら馬”作りに挑戦することになったものです。

講師の末次一郎さん(栗尾)の手ほどきを受けながら、縄ないからはじめ、まず、手のひらでよりをかけていく難しさ、もどかしさを体験、お父さん、お母さんと一緒に悪戦苦闘しながらも楽しいひとときを過ごしました。

この“わら馬”は、正月行事にまつわる“さいの神”にちなんだもので、将来の幸せに祈りをこめた立派な“わら馬”的完成に大よろこびでした。

## 条例改正、工事請負契約、補正予算など十四議案を可決

○鳥取県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び同組合規約の変更

川筋地区簡易水道について、基本料金を減額改定するものです。

### ○土地改良事業施行

本案は、鳥取県町村職員退職手当組合の組合員である鳥取市及び邑法第一中学校組合の脱退並びに中部市町村共同施設組合の改名等の変更をするものです。

### ○国民健康保険条例の一部改

被保険者とする外国人等の範囲の拡大並びに健康保険法の一部改正により退職者医療制度が創設されたことに伴いこれにより療養の給付を受け被保険者等について、給付を受ける際に要する一部負担を受ける際の金額を改定するものです。

### ○簡易水道等施設の設置並びに給水に関する条例の一部改正

江府町大字江尾字小倉日南九九八番外七筆につき、森林資源の確保並びに地域住民の財産造成を図るため、鳥取県造林公社と分収造林契約の締結をするものです。

江府町大字江尾字小倉日南九九八番外七筆

土地所有者 江尾財産区

### ○二級町道江尾大谷線久連橋歩道橋架設工事請負契約の締結

江府町総合整備計画にもとづき、久連橋歩道橋の架設工事を昭和五十八年度に引き続き国の補助事業として実施するもので、指名競争入札により瀧上工業(株)と三千九百万円で請負契約の締結をするものです。

### ○林道大空足谷線新設工事請負契約の締結

江府町電源立地促進対策交付金事業計画にもとづき、昭和五十九年度において、林道大空足谷線の新設工事を実施するもので、指名競争入札により(有)住田組と四千八百五十五円により請負契約の締結をするものです。

### ○過疎地域振興計画の変更

過疎地域振興特別措置法により、昭和五十五年度に策定した本町の過疎地域振興計画について、新規事業計画実施のため計画を変更するものです。

## 町政のうごき

### 町長の行政報告から

#### ・総務

「事故防止、町から、村から、家庭から」をスローガンに、九月二十一日～九月三〇日の間、秋の交通安全運動が展開されました。

県下一斉に九月を明るい選挙推進月間と定め、明るい選挙の実施と、有権者の自覚を促すため、各種啓発につとめました。

事務の能率化を図るため、府舎内電話のシステム改善工事に着手し、九月二十日通話事を開始しました。



交通安全パレード

ました。期間中は、交通安全指導員をはじめ、各事業所、団体等の協力をもとに、街頭指導、シートベルト、ヘルメット着用推進指導、また、交通安全パレード、広報、有線放送による啓発などを実施しました。

中国電力の俣野川発電所に調和し、観光レジャーの拠点となる開発のため、温泉源の開發を計画し、八月二十一日から二十三日まで、京都大学防災研究所に対し、水質調査を依頼、町内三十九地点について採水調査を実施したところ中電力俣野川発電所の第二放水路内の採水から温泉成分含有量を発見しました。

今後更に、現地採水調査、地質調査等を続けていく方針です。

## 町長日誌

9月

- 1日(土) 庁内会、郡職員運動会
- 3日(月) 俣野川ダム操作規定地元説明会、商工会行政座談会
- 4日(火) 岡山農政局計画課長来庁、泉源開発調査
- 5日(水) 中国開発幹線自動車道建設促進総決起大会、江尾区陳情、下蚊屋ダム打合せ
- 6日(木) 県高等学校教育審議会
- 7日(金) 西部町村議会議員研修会並びに自治功労者表彰式、下蚊屋ダム打合せ会
- 8日(土) 小江尾部落来庁、助沢部落農用ダム協議会
- 10日(月) 甘酒茶屋運営委員会、中国電力鳥取支店長来庁
- 11日(火) 江府中学校運動会、県森林組合ソフトボール大会、下蚊屋ダム打合せ会
- 12日(水) 西部町村会
- 13日(木) 広島出張
- 14日(金) 広島出張
- 15日(土) 江尾地区敬老会、武庫部落敬老会
- 16日(日) 各小学校運動会、米沢、川筋、俣野地区町民運動会
- 17日(月) 建設課事業入札、商工会役員、新道部落役員来庁、県体スキー連盟大会要請
- 18日(火) 中国電力副社長外来庁、泉源調査岡山大学教授来庁
- 19日(水) 俣野川ダム湛水式
- 20日(木) 在勤
- 21日(金) "
- 22日(土) 日野郡行政懇談会
- 23日(日) 江尾地区運動会
- 25日(火) 町議会
- 26日(水) 町議会
- 27日(木) 在勤
- 28日(金) 日野振興協議会委員会
- 29日(土) 在勤
- 30日(日) 保育園運動会

決算総額は、事業収益、一億一千二百三十九万四百七十六円、事業費用一億五百八十六万八千六十六円、純利益六百五十二万二千三百十円となつており、町監査委員の審査のうえ承認されたものです。

○索道運営事業会計決算認定 決算総額は、事業収益、四千四百八万一千三百二十六万事業費用、四千四百六十六万円を差引本会計は五十八万五千四百六十六円の損益となります。これは建設当初でもあり、宣伝費、借入金利息等諸経費が多く単年度において損失となつたものです。

既定の予算額に百六万九千円を追加し、予算総額を二十二万七千円としました。補正の主な内容は、柿原地区簡易水道起債償還金の修正等で、この財源として、繰入金、繰越金の増額をするものです。

○簡易水道事業特別会計補正 予算(第一号)

○教育委員長に妹尾衛氏が就任 九月三十日で任期満了となる教育委員長の後任に、妹尾衛氏が全員一致で同意され、また教育長に福田正臣氏の再任が決まりました。

## ・同和対策

九月六日、児童館では任期満了に伴う新委員の委嘱と、第一回の運営委員会を開催しました。新しい委員さんは、次のとおりです。

## ○奥大山国民宿舎山荘甘酒茶屋運営事業会計決算承認

## ○一般会計補正予算(第二号)

## ○老人保健特別会計予算(第一号)

## ・民生

会長代理

川川藤仲仲後遠川  
端端原嶋嶋藤上  
夕裕真勝房克  
子人要道利雄美実





テープカットを行う 左から嶋村政務次官、山村農林水産大臣、井上会長、井上構造改善局長

十月二十七日、二十八日の二日間、「まちとむらの心のふれあい」をテーマに、全国の特産品を集めたまちとむらの交流促進大会が初めて東京代々木公園で開かれました。

大会は、農林水産省と都市と農村の交流促進委員会（江府町井上町長が会長に就任）が、都市に住む人達に農村や農業を理解してもらうため企画したもので、全国から三百市町村の参加により、農林業体験教室、セミナー、地域特産物や工芸品販売など盛大に催されました。

本町は奥大山の観光特産物でもある高原だいこん、ねぎわさび、しあたけなどの高冷地野菜を江府町農協の協力を得て出店しました。

開会式では、山村農林水産大臣のあいさつにつづき、井上会長の「今後も交流を積極的に広げたい」の力強い呼びかけは、秋晴れの代々木公園にこだまして、大会セレモニーを一段と盛り上げました。山村新治郎農林水産大臣、嶋村宣伸政務次官、井上喜一構造改善局長、井上健治都市と農村交流促進委員会々長によるテーブカットののち、それぞれの自慢の特産品コーナーを激励して回る関係者らの顔には、本大会への成功と、今後の交流への期待が感じられました。

13 日 (土)	12 日 (金)	11 日 (木)	9 日 (火)	8 日 (月)	6 日 (土)	5 日 (金)	4 日 (木)	3 日 (水)	2 日 (火)	1 日 (月)
在勤	来 厅	落役員来 厅	日野農林振興局 耕地 課長來廳、下蚊屋部 落役員	西部広域行政管理組 合定例会、中國電力 長本所長來廳	北海道出張 (全国自然休養村 協議会総会)					

10  
月

わだい

## わが町の特産品を全国に

## まちとむらの交流促進大会



## にぎわう江府町特産品コーナー

## 町長日誌



そろそろ やけたかな？

恒例の町慰靈祭が、十一月六日午前十時から土井之内会館で厳粛に行われ、式には、遺族・来賓ら二百二十名が参列して尊い犠牲者のめい福を祈りました。

また式後、歌や舞踊など二時間にわたり遺族の慰安を行いました。

## 遺族ら220名が参加 町慰靈祭



めい福を祈る参列者



30日(火)  
29日(月)  
28日(日)  
27日(土)  
26日(金)

東京出張  
(都市と農村交流大  
会)

下蚊屋大根組合収穫

## 保育園で

### 「ほかほか、やきいも大会

秋晴れに恵まれた十一月六日、子供の国保育園でやきいも大会を行いました。山積みにした落葉は子供たちが集めたもので朝早くからこの落葉の山に火がつけられ、ちょうど十時ごろには食べごろになりました。

このさつまいもは、子供たちが保育園の裏の菜園に苗を植え、自分たちで管理し、収穫したもので、次々にほかほかにやきあがつた大きなさつまいもをほうばりながら子供たち、どの顔も満足そうでした。



玉入れ競争

## 若返り

### 高齢者スポーツ大会で

スポーツを通じてお年寄りの健康増進を図ろうと始まつ

た「高齢者スポーツ大会」が今年も十月二十四日、町民体育馆で開かれました。

大会には三百五十名のお年寄りが参加。

ラケットレースで競技を開始。玉入れなど七種目を各老人クラブ単位に別れて競い、ふだん運動する機会の少いお年寄りたちですが、この日ばかりはと競技に応援に大いにハッスル、燃える一日を過ごしました。

15日(月)

県衛生環境部長来庁、西部地区同和対策協議会役員会、大山開発局長・大山山ろく所長来庁

農業委員会

岐阜出張(日野町・

江府町・日南町衛生

施設組合研修)

武庫高谷林道竣工式

日野郡プロック明るい選挙指導者研修会

(於、江府町)

教育委員会

高齢者スポーツ大会

全国土地改良大会(米子市)



## わかくさ国体 山岳競技をみて



町山岳部長  
坂口理郎

修驗道の地大峯山の登山口の  
標高八〇〇メートルもある天川村洞川  
で「わかくさ国体」山岳競技を  
視察し、天川村上北山村あげて

いてですが、九時受付開始同三十分受付終了でした。その間、案内の放送が三回程度あったように思いますが、もう少し遠路の人々を受け入れるにふさわしい放送はないものであろうか、寒い雨の日、暖いおだやかな日、そういう様な日を想定して遠路来町の人々に肌で接するような呼び掛けがあつてよいのではなかろうか。合間に静かな音楽を流し気持の安らぎを得ることも必要と思う。

又選手、役員、視察員に配られた土産品ですが、天川村は吉野杉を素材としたものでしたが、江府町では何にしたらよいものか、数もたくさんあることでもあり、早急に解決せねばと考えます。

皆さんよろしくお願ひします。

競技出発点での応援体制を考  
えると共にこれから町民の皆さんに山岳競技のPRが一層必要と感じ、理解と協力を願つて行かなければならぬとthoughtした。  
来年の国体が、江府町あげて成功することを願い、奈良国体の視察を終えた。

THE BOSTONIAN

サービスに大奮闘が見られた。天川村の集会場所は洞川地区入口の村営大駐車場が当てられ市中行進の出発点になつていて、誰でも良くわかる位置であり、江府町の場合これが課題とも思われる。

の開始式を見ることが出来た。  
人口の少ない人里離れた吉野の山奥で大会を盛り上げるには、村民の協力と努力があつたと思つた。

## 奈良国体を 視察して



婦人団体連絡協議会長  
門田久子

なげ」の小さい花束も洞川婦人会員の手作りで、選手はもとより視察の私たちにもプレゼントされ、国体の視察に参加したという心がまえを深くした。道中奈良県に入ると道の両側に国体旗、県旗など大小の旗が見える。道するべのようになには何々会場の横断幕、歓迎の看板がある。マリーゴールドの黄とサルビヤの赤は手入れがゆきとどいていた。

接待メニュー及び数量、協力事業者、服装計画、その他。

60年わがより国体山岳競技会場会場の成功のために、江府町婦人団体連絡協議会より5名がわかくさ国体山岳競技会場天川村洞川の視察に参加した。

玄関には3本の小旗があり、選手団等の宿舎名で国体色一式だった。

開始式の日にもらった天川村婦人会員手作りの和紙造花「おやまれんげ」を胸に開始式を見学。

妾半系の帰人30名で妾寺の隼

## 奈良固体 視察を終えて



式典音樂主任  
木 村 悅 子

役員監督の接遇はもとより視察の人に對しても変らぬ接遇が当然必要だと痛感した。

最後にみんなで迎える山岳会の場を成功させるために、町民をあげて温かい心くばりが盛り上るよう切に望みたい。

接伴係の娘ノ8名で接待の準備がされていた。服装は帽子、エプロンそれに接伴の腕章で統一され、その中には交通安全母の会のタスキ姿が目をひいた。

奈良国体山岳競技開催地の天川村は、山また山、まさに天に至る村、山岳競技開催にまことにふさわしい村でした。

選手役員を先導し、開始式を盛り上げる唯一の鼓笛隊は、三小学校



## 国民年金の保険料は 忘れずに納めましょう

国民年金の保険料の納め忘れはありますか。いま一度お確かめください。

ついうつかりして納め忘れたために  
思いがけない事故にあったとき、障害  
年金や母子年金が受けられないことに  
もなりかねません。

また、納め忘れをそのままにしておくと、将来、老齢年金が受けられなかったり、年金額が少なくなったりします。そのときになって、あわてて保険料を納めようと思っても間に合いません。

国民年金の保険料は、毎月忘れない  
ようきちんと納めましょう。

月々納めるのがめんどうだという人には、まとめて納付する保険料の前納制度が、また納めたくても、所得が少なく生活が苦しいなどの理由で納めにくい人には、保険料が免除される制度もあります。

詳しいことは、役場国民年金係へお尋ねください。

1、医療費の自己負担が一人  
一ヵ月、一つの病院、診療  
所について五万一千円（町  
民税非課税世帯は三万円）  
を超えた場合、超えた額全  
額が国保から払い戻されま  
す。

2、同一世帯で同一月に医療  
費の自己負担が三万円（町  
民税非課税世帯は二万一千

健康保険法の改正により、本年十月一日から高額療養費制度が、次のとおり改正されました。

## 高額療養費制度の改正

戻されます。

3、同一世帯で一年間に四回以上高額療養費の支給を受けた場合、四回目から、自己負担額が三万円（町民税非課税世帯は二万一千円）を超えた額が国保合は、その額を合算して五万一千円を超えた額が国保から払い戻されます。

限度額を超えた医療費は国保から払い戻されますが、実際の払い戻しを受けるまでには、三ヶ月近くかかります。該当される人には役場国保係から高額療養費申請手続きの通知をしますから上、申請手続きをして下さ

4、血友病、慢性腎不全など  
高額な治療を長期間うけなければならぬ病気で、厚生大臣の指定したものについては、高額療養費の限度額は一万円となります。一ヶ月一万元を超えた医療費は国保から払い戻されます。

お元気ですか

保健婦から

ひとこと

ところでしょうか。  
今年は五年ぶりの豊作とか  
みなさんの家庭はいかがでし

兼業農家がほとんどで、  
気の良い休みの日に全部して、  
しまおうと無理をして、腰痛  
で悩んでいる人はいませんか。  
腰の痛いのは、いろいろな  
原因でおこります。過労や不  
か、特に思い当たる原因がな  
く腰痛が起こり、数日経つと  
も良くならないとか、次第に  
ひどくなるような場合には、  
まず整形外科の医師にみてま  
ず必要があります。  
最近は交通機関が発達し、

特に足を何うことが非常  
に少なく運動不足の状態にな  
つており、脊椎の回りの筋肉  
腹筋、腰筋の力も弱くなつて  
いるので腰痛もおこりやすくな  
つています。

腰痛を予防するには、肥満にならないように、食生活に気をつけ適度な運動により、腹筋や背筋を強化することが大切です。それには、ジョギング、体操、水泳、テニス、ゴルフなど、スポーツならなんでも結構です。体を鍛えることが大切です。ただ、その運動を始めるときには、いきなり力を入れて始めるのではなく、必ず準備運動をしてからにして下さい。基本的には、ふだんの生活の中で、横着をしないで、日常の動作の一つ一つを「こまめ」に動くことが大切なのです。





## 人の動き

お誕生おめでとう

(10月届)

新本五川端奈津子  
二徳岡愛加道明二女  
小原川上幸宏新二男  
ごめい福を祈ります

ご結婚を祝します

三好	洋祐	洲河崎
遠藤みよ子		西伯郡西伯町から
川端	一美	江尾
上道	孝子	福岡県行橋市から
清水	健	佐川
石川	智子	米子市から
丸山	清	広島県三原市
小倉	恵子	御机から
足立	稔	江尾
生田	静香	久連から
中川	耕二	宮市
井関	恵子	大阪府羽曳野市から
西川	雅章	広島県竹原市
加藤由加利		江尾から

石田	口	俊介	江尾
喜多	義雄	徳島県三好郡	日南町から
沖田	小百合	江尾から	
松田	政治	宮崎県延岡市	
白川	久美	柿原から	
川原	克志	米子市から	
木村	旬美恵	小江尾	
中祖	律雄	吉原	
中祖	恵美子	吉原から	
中川	正	宮市	
水倉	陽子	大阪府茨木市から	
渕上	総	佐賀県杵島郡	
下原	あけみ	俣野から	
影山	勉	洲河崎	
森田	滝子	江尾から	

人口と世帯  
(9月30日現在)

ありがとうございました

十月中寄託分

香典返しとして

大河原 永岡久雄殿  
(妻真澄様ご逝去)  
池ノ内 小田 隆殿  
(父武治様ご逝去)  
佐川 下村敏彦殿  
(母久慈台様ご逝去)

内祝として

柿原 奥田親雄殿  
(ご本人様退院  
貝田 遠藤 昇殿

尾上原 宮本精子殿  
(長女妙子様退院)  
西 成 千藤登美子殿  
(ご本人様退院)  
下蚊屋 筒井八重子殿  
(ご本人様退院)  
下蚊屋 筒井 肇殿

佐川 清水 隆殿  
(ご本人様退院)  
川 清水 隆殿  
(ご本人様退院)

荒田林隆雄殿  
（ご本人様退院）  
下蚊屋（ご本人様退院）  
大森春子殿  
机高津豊治殿  
（ご本人様退院）  
原青木信惟殿  
（ご本人様退院）

## 豊かな人間関係を

人權週間

12月 4日～10日

12月4日から10日までの一週間は「人権週間」です。

### 今年の人権調査は

- 人権の共存…お互いに相手の立場を考えて、豊かな人間関係をつくろう。
- 部落差別をなくそう。
- 婦人の地位を高めよう。
- 障害者の完全参加と平等を実現しよう。

の四点が強調事項になっています。この人権週間を機会に今一度人権の尊重について考えてみましょう。

毎日の生活の中で人権問題で困ったこと、法律上の手続の相談などありましたらどんなことでも気軽に相談して下さい。

人権相談所は、法務局の人権擁護課及び米子の同支局で常時開設しています。また、人権擁護委員は自宅でも相談に応じます。本町の人権擁護委員は、次の方です。

### 安江夕景 (洲河崎)

電話 5-2208

上原裕臣（江尾）

電話 5-2098

1、	九月末累計額
2、	二百三十三万二千三百六十四円
3、	十月中寄付額
4、	二十一万八千円
5、	内 訳
6、	香典返し 十万円
7、	快気祝 十一万八千円
8、	三百五十五万三百六十六円
9、	十月末累計額

（長女美香様退院）  
以上、社会福祉事業にご寄付  
いただきました。厚くお礼申し  
上げます。